

令和5年12月25日
茨城県福祉部子ども政策局青少年家庭課
担当：尊田・菱木(029-301-2183 内線：2181)

株式会社ヨークベニマルによる子ども食堂への食品寄贈について

株式会社ヨークベニマル様より、クリスマスに合わせて、物価高騰の影響を受け困っている家庭など、子どもたちへの支援のために、子ども食堂や児童養護施設に対して、食品の寄贈をいただきました。

食品寄贈式を下記により執り行いましたのでお知らせいたします。

記

1 寄贈の詳細

(株) やおきん お菓子詰め合わせ：2,000袋(70万円相当)

※ (株) ヨークベニマルによる本県子ども食堂に対する支援は7回目

2 寄贈式

(1) 日時 令和5年12月22日(金) 14時30分から

(2) 会場 子ども政策局長室(県庁舎14階)

(3) 来席者 株式会社ヨークベニマル

執行役員 総務室室長 やぶき ひろし 矢吹 裕 様

茨城北ゾーンマネジャー おおひら けいいち 大平 恵市 様

(5) 内容

- ・寄贈者代表あいさつ
- ・受贈者代表あいさつ
- ・食品贈呈
- ・記念写真撮影

3 寄贈の理由

物価高騰の影響を受けている子育て家庭を支援するため、子ども食堂へ食品を寄贈するとのこと。

なお、ヨークベニマルの店舗がある5県(山形県、宮城県、福島県、栃木県、茨城県)に対し、同様の申し出をしている。

4 配布先・配布方法

子ども食堂サポートセンターいばらき(当課委託事業)を通じて、子ども食堂(13施設)や児童養護施設(11施設)計24団体に寄贈。希望した団体には12月22日に配布を完了した。

5 寄贈式コメント

○(株)ヨークベニマル 矢吹執行役員

新型コロナウイルスが5月に5類感染症へと移行し、私たちの社会生活も徐々にコロナ以前に戻りつつあるものの、電気代の高騰や食料品の値上げ等の物価高が以前続いており、生活困窮、子どもの貧困という問題が未だ解消されていない状況にあります。

そのようななか、何か地域のお役に立てることはないかと考え、令和3年から食品寄贈を行っているところです。

今回は、未来を担う子どもたちの笑顔が見えることを希望し、クリスマスプレゼントの意味も込めてお菓子を2,000袋寄贈させていただくことといたしました。ぜひお役に立てていただければと思います。

○茨城県福祉部子ども政策局 川和田局長

(株)ヨークベニマル様からは継続的にご寄贈を賜り、今回は7回目となります。

物価高騰で皆さんが苦しんでいるなか、今回はクリスマスということもあり、子ども食堂や児童養護施設の皆さんも大変喜んでいただいております。

このような機会に福祉の分野に気を配っていただけるということは大変ありがたい感謝に堪えません。色々な絆を結びながら、一緒に頑張りたいと思いますので、引き続きご支援をお願いしたいと思います。本当にありがとうございました。

6 受贈団体からの声

○団体A (子ども食堂)

「物価高騰の中、子供達にお菓子まで用意するのはなかなか難しいのでとてもありがたいです。子どもたちに笑顔をお届けできるよう頑張っていきます。」

○団体B (子ども食堂)

「お菓子は子どもたちも大好きです。クリスマスも近いので、プレゼントとして渡したいと思っております。」

○団体C (児童養護施設)

「昨今の物価高騰により、子どもたちが生活する場所になる児童養護施設では、食事にかかる部分の費用が一番大きいため、お菓子の寄贈は大変ありがたいと思います。」

これから冬休みを控えており、クリスマスやお正月と行事が続きますので、いただいたお菓子をいただきながら楽しいひとときを過ごしたいと思います。」

○団体D (児童養護施設)

「普段、子ども達へ提供しているお菓子は、限られた予算の中での購入しており、子ども達が大好きなお菓子の寄付は大変嬉しいです。」

7 寄贈式の様子



左から矢吹執行役員、川和田茨城県福祉部子ども政策局長、大平マネジャー